### 日本医科大学医学会雑誌(和文誌)論文投稿規程

- 1. 日本医科大学医学会雑誌(和文誌)は基礎,臨床 分野における医学上の業績を紹介することを目的と し. 他誌に未投稿のものでなければならない.
- 2. 本誌への投稿者(全共著者を含む)は原則的に日本医科大学医学会会員に限る. ただし, 依頼原稿についてはこの限りではない.
- 3. 日本医科大学医学会雑誌,第16巻第2号(令和2年4月)以降に掲載するすべての論文に対して,クリエイティブ・コモンズ表示4.0 国際(CC BY NC ND)ライセンス (https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/)を採用した.すべての論文の著作権については,論文が採用された場合,日本医科大学医学会が保持するものとする.ライセンスが付与された論文については,非営利目的の場合,元の論文のクレジットを表示することを条件に,すべての者が,ダウンロード,二次使用,複製,再印刷,頒布を行うことができる.営利使用または改変を行う場合は,編集主幹による利用許諾を要する.また,第16巻第2号(令和2年4月)以前に掲載された論文についても同様に利用許諾を要する.
- 4. 投稿論文の研究は「ヘルシンキ宣言,実験動物の 飼養および保管等に関する基準(「日本医科大学動物 実験規程」参照)」,あるいは各専門分野で定められ た実験指針および基準等を遵守して行われたもので あること.
- 5. 投稿時点で施行されている個人情報保護法を遵守したものであること.

なお、臨床研究を投稿する場合は、研究対象者を 特定できる文面・写真を掲載しないことおよび人権 を損なうことのないように配慮し、研究対象者から インフォームドコンセントが得られていること.

また,動物実験の場合は,動物の維持・管理や実験操作に伴う疼痛の緩和に配慮したことを明記すること.

- 6. 法的あるいは倫理的に審査が必要とされている研究については、倫理審査委員会の承認を得ていることを証明する書類を提出または承認番号を明記する.
- 7. 本誌には次のものを掲載する.
- (1) 原著, (2) 綜説(論説), (3) 臨床医のために, (4) 臨床および実験報告, (5) 症例報告, (6) CPC・症例から学ぶ・基礎研究から学ぶ, (7) 話題, (8) その他編集委員会が認めたもの.

種目	原稿	英文抄録	図表写真の 点数
原著	16,000 字 以内	400 語以内	制限なし
綜説 (論説)	16,000 字 以内	400 語以内	12 点以内
臨床医の ために	4,000字以内	400 語以内	6点以内

臨床および 実験報告	3,200字以内	400 語以内	6点以内
症例報告	3,200 字以内	400 語以内	6点以内
CPC・症例 から学ぶ・ 基礎研究 から学ぶ	6,400 字 以内*	400 語以内	文字数に 含む
話題	2,200 字 以内	_	_

\*ただし. 図・表・写真に関しては. 1点400字に相当.

8. 論文の投稿は、電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts」で行う. 投稿ウェブサイト:

https://mc.manuscriptcentral.com/manms \*事前にアカウント登録が必要.

9. 所定の「論文投稿チェック表」・「誓約書・著作権 委譲書」・「利益相反(COI)自己申告書」(全共著者 を含む)を添付する.

なお、論文内に利益相反の状態(利益相反が無い 場合もその旨)を明記する.

- 10. ネイティブではない著者が執筆した英文抄録については、事前にネイティブの者の校正を受けること、
- 11. 原稿の構成は、(1) 表紙、(2) 抄録、(3) Key words (英語) 5 語以内、(4) 本文 〔緒言、研究材料 および方法、結果(成績)、考察、結論、文献〕、(5) 図・表・写真とその説明、(6) その他とする.
- 12. 原稿の内容は,
  - (1) 表紙:表題,所属名,著者名,連絡先(所属機関,勤務先または自宅の住所,電話番号,Fax番号,e-mail address).以上を全て和文と英文で提出する.表題には略語を使用しない.著者は原則として10名以内とする.
  - (2) 文献:本論文の内容に直接関係のあるものにと どめ、本文引用順に、文献番号を1. 2. 3. …と つける. 文献には著者名(6名以下は全員、7名以 上は3名を記載し、4名からはほか、英文は et al. で記載する.)と論文の表題を入れ、以下のよ うに記載する. なお、雑誌の省略名は和文の場合 は医学中央雑誌・収載誌目録、欧文誌では"NLM Catalog: Journals referenced in the NCBI Databases"による.

https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals

i. 雑誌の記載例

松谷 毅,藤田逸郎,金沢義一ほか:残胃癌に対する腹腔鏡補助下残胃全摘術.

日医大医会誌 2014;10:178-181.

Yokota H: Cerebral endothelial damage after severe head injury. J Nippon Med Sch. 2007; 74: 332–337.

ii. 単行書の記載例

横田裕行: 救急医療における終末期医療. 第10巻 救急医療(シリーズ生命倫理学). 有賀 誠, 手嶋 豊編. 2012; pp 79-100, 丸善出版 東京.

Ogawa R: Diagnosis, Assessment, and Classification of Scar Contractures. In Color Atlas of Burn Reconstructive Surgery (Hyakusoku H, Orgill DP, Téot L, Pribaz JJ, Ogawa R, eds), 2010; pp 44–60, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, Berlin.

#### iii. オンラインジャーナルの記載例

Yoshida H, Taniai N, Yoshioka M, et al.: The current status of laparoscopic hepatectomy. J Nippon Med Sch. 2019 Aug 15; 86: 201–206 https://doi.org/10.1272/jnms.JNMS.2019\_86-411

iv. Web サイトの記載例

National Comprehensive Cancer Network: NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology: Non-Small Cell Lung Cancer Ver. 2; 2018. https://www2.tri-kobe.org/nccn/guideline/lung/english/non\_small.pdf

### v. データベースの記載例

U.S National Institutes of Health. SEER Summary Staging Manual-2000. http://seer.cancer.gov/tools/ssm/ Accessed Jan 26 2015.

(3) 図・表, 写真:

表題, 説明を含め英文(推奨)で作製する. 表は Table 1 (表 1), Table 2 (表 2) …, 図は Fig. 1 (図 1), Fig. 2 (図 2) …とし本文の欄外に挿入箇 所を明示する.

表の上には必ず表題、図には図題を付ける。また、本文を併読しなくともそれだけでわかるよう 実験条件を図・表・写真の下に簡単に記載することが望ましい。

(4) 見出し符号:

見出し符号を付ける場合は1,(1),1),i,(i),

- i) を基本順位とする. ただし, 緒言, 結論には見出し符号は付けない.
- (5) 原則として国際単位系 (SI) を用いる. 記号の あとにはピリオドを用いない. 数字は算用数字を 用いる.
- 13. 論文の採否は、編集委員会が決定する.
- 14. 投稿前に英文校閲を希望する場合は, 事務局にご 連絡下さい. (有料)
- 15. 著者校正は原則として初校のみとし、指定期限以内に返却するものとする。校正は脱字、誤植のみとし、原文の変更、削除、挿入は認めない。
- 16. 投稿原稿は原則として、その印刷に要する実費の 全額を著者が負担する.
- 17. 別刷の費用は著者負担とする. ただし, 依頼原稿 は別刷 50 部を無料贈呈する.
- 18. 投稿に関する問い合わせ・連絡先 〒113-8602 東京都文京区千駄木1丁目1番5号 日本医科大学医学会事務局内 日医大医会誌編集委員会

電話:03-3822-2131 (内線 5111)

FAX: 03-5814-6765 E-mail: jmanms@nms.ac.jp (令和2年10月15日)

Copyright©The Medical Association of Nippon Medical School

# 日医大医会誌論文投稿チェック表

種	目:			投稿日:	年	月 日		
著者	著者名: 所属:							
表	題:							
<ul><li>□ 2.</li><li>□ 3.</li><li>□ 4.</li></ul>	著者数 投稿論 投稿論 からイ	は 10 名以内 文は,個人 文が人間ま ンフォーム	情報保護法に準拠して	「いる. して研究を記述してい		<b>查委員会</b> σ	)承認を得て	いる証明および研究対象者
			種目	文字数	英文抄録	図表	写真の点数	
			グラビア	700 字以内				
			カラーアトラス	1,000 字以内				
			原 著	16,000 字以内	400 語以内	#	削限なし	
			綜説 (論説)	16,000 字以内	400 語以内	1:	2点以内	
			臨床医のために	4,000 字以内	400 語以内	6	5 点以内	
			臨床および実験報告	3,200 字以内	400 語以内	6	5 点以内	
			症例報告	3,200 字以内	400 語以内	6	5点以内	
			CPC・症例から学ぶ 基礎研究から学ぶ	6,400 字以内	400 語以内	文气	字数に含む	
			話 題	2,200 字以内				
<ul> <li>□ 6. 原稿(文献も含む)にページを記載している。</li> <li>□ 7. 体裁が次の順に構成されている。</li> <li>① 表題 ②Title・著者名・所属(和文・英文) ③Abstract (英文) ④Key Words (英語) ⑤緒言 ⑥研究材料および方法 ⑦結果 (成績) ⑧考察 ⑨結論 ⑩文献 ⑪Figure Legend</li> <li>□ 8. Abstract はネイティブチェックを受けている。</li> <li>□ 9. Abstract は double space で 400 語以内である。</li> <li>□ 10. Key Words は英語 5 語以内である。また、選択に際し、医学用語辞典 (南山堂)・Medical Subject Heading を参考にしている。</li> <li>□ 11. 文献の引用が本文中順番に引用されている。</li> <li>□ 12. 文献の引用が本文中順番に引用されている。</li> <li>□ 13. (1) 表・図は英文 (推奨) で作成されている。</li> <li>(2) 表・図および写真は各 1 枚ずつにされている。</li> <li>(3) 表・図および写真の数は規定内である。</li> <li>(4) 表・図を電子媒体で作成する場合は、300dpi 以上で作成されている。</li> <li>(5) 本文中の表・図の挿入位置が明示され、順番に出ている。</li> <li>(6) 表・図は査読しやすい大きさである。</li> <li>(7) 写真は鮮明である。</li> <li>□ 14. 誓約書・著作権委譲書がある。</li> <li>□ 15. 投稿者は、印刷経費の実費を負担する。</li> </ul>								
連		う望する連絡 mail	各先 @					

メモ:

### 誓約書・著作権委譲書

(更新日:令和2年4月15日)

日本医科大学医学会雑誌に投稿した下記の論文は他誌に未発表であり、また投稿中でもありません。また、下記の論文に使用されている表・図等は、未公開のものです。

採用された場合にはこの論文の著作権を日本医科大学医学会に委譲することに同意いたします. また, 下記のオープン・アクセス・ポリシーに同意いたします.

なお,本論文の内容に関しては,著者(ら)が一切の責任を負います.

## 【オープン・アクセス・ポリシー】

日本医科大学医学会雑誌は,第16巻第2号(令和2年4月)以降に掲載するすべての論文に対して,クリエイティブ・コモンズ表示4.0 国際(CC BY NC ND)ライセンス(https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/)を採用した.ライセンス採用後も,すべての論文の著作権については,日本医科大学医学会が保持するものとする.ライセンスが付与された論文については,非営利目的の場合,元の論文のクレジットを表示することを条件に,すべての者が,ダウンロード,二次使用,複製,再印刷,頒布を行うことが出来る.営利使用または改変を行う場合は,編集主幹による利用許諾を要する.また,第16巻第2号(令和2年4月)以前に掲載された論文についても同様に利用許諾を要する.

論文名		
署名	氏名	日付

注:著者は必ず全員署名して下さい.